

令和8年6月25日

沖縄県がん診療連携協議会
協議会委員各位

がん経験者の会
又吉 賢弘

「沖縄県がん登録事業報告の集計方法」に関する要望書の提出について

「第4次沖縄県がん対策推進計画」は、「事業者は、職域でがん検診を受診する機会のない従業員に対し、市町村におけるがん検診を受診するよう情報を提供するなど、従業員が、がん検診を容易に受診することができる環境整備に努める。」としています。

しかし、市町村実施のがん検診における「国保加入者以外の受診率」は、平成30年の「職域におけるがん検診マニュアル」の発表時に10%弱の受診率を見せたが、その後下降したままです。かつて「長寿県といわれた沖縄」の「悪性新生物・75未満年齢調整死亡率は最悪の状況であり、職域におけるがん検診の受診率の低さが最大の原因であると推測し、「協会けんぽ」を中心とした「ハイリスクアプローチ」の必要性について、報告を続けて来ました。

職域のがん検診の受診率を把握する方策がない現状において、「沖縄県がん登録事業報告」の集計データを活用する事こそが、取りうる「有効な改善策」であり、働き盛りの年代層に着目した集計方法の改善が必要です。従って、「集計方法の改善」について、下記の通り要望致しますので、審議をお願い致します。

記

1. 国保加入者以外の受診率

市町村がん検診における国保加入者以外の受診率は5%以下で、改善の傾向が全く見られません。
(添付資料の図1参照)

2. 2012年以降の「沖縄県がん登録事業報告書」は、「40～64才のがんによる死亡は、男女とも沖縄が高くなっている」との解説を、2020年の報告まで継続しています。(添付資料図2参照)

3. 「悪性新生物・75未満年齢調整死亡率は最悪の状況です」。(添付資料図3参照)

4. 上記2の「沖縄県がん登録事業報告書」における「発見経緯、進展度、初回治療内容」等に関するデータは、年齢階級別の分析がありません。データを年齢階級別に細分化して、年令による影響を明確にすることで、がん検診受診の必要性を訴える事が可能となります。「働き盛りのがん検診の必要性」を訴える事は有効であり、現状における最良のがん対策である、と考えます。

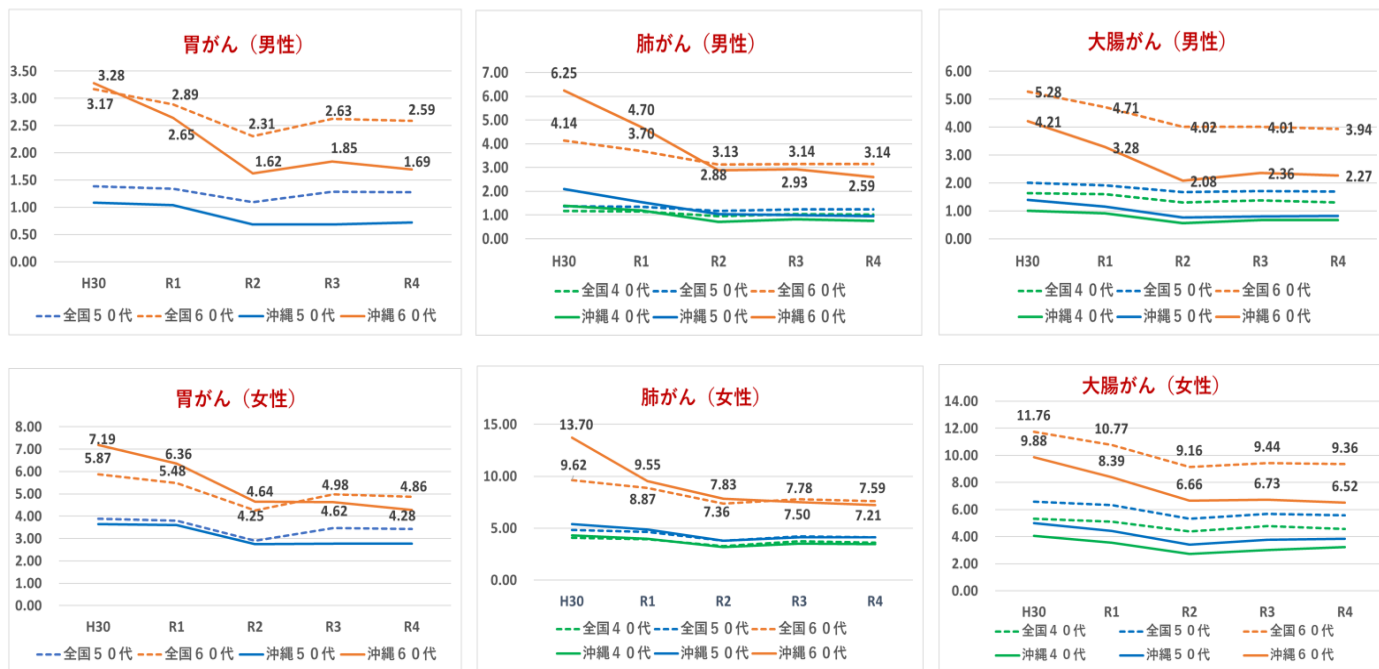
5. 集計方法の改善に関する具体的な内容は、別紙「要望書」を確認して下さい。

6. 「『沖縄県がん登録事業報告の集計方法』に関する要望書」(別紙)を沖縄県保健医療介護部・部長宛に要望書を提出する。

以上

図 1

年代別がん検診受診率（国保以外）

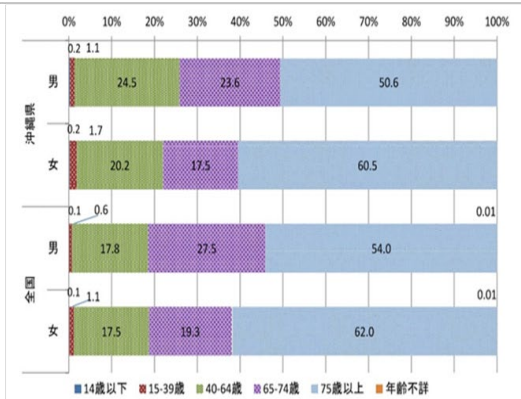


出典：地域保健・健康増進事業報告(健康増進編)都道府県表（e-Stat）

図 2

図 3

2012年



9年間同じコメント

「男女ともに沖縄が高くなっている」

2020年

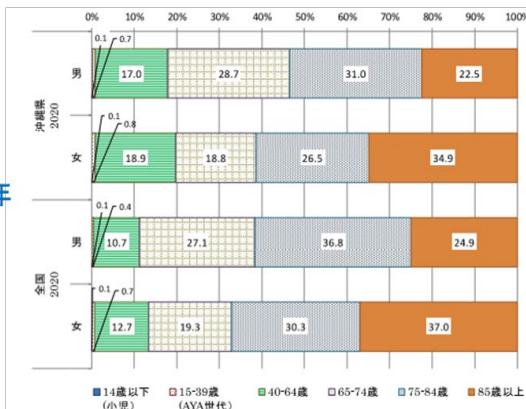
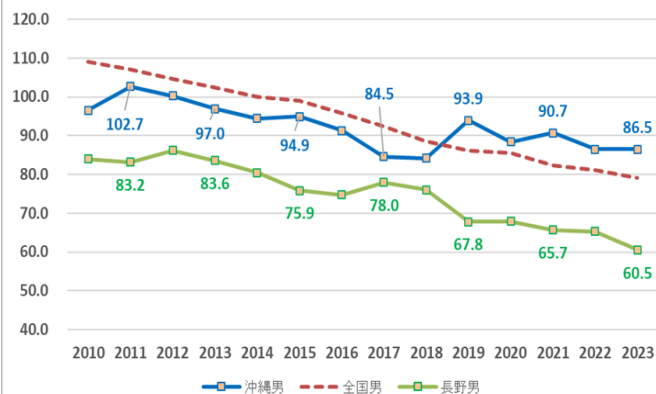
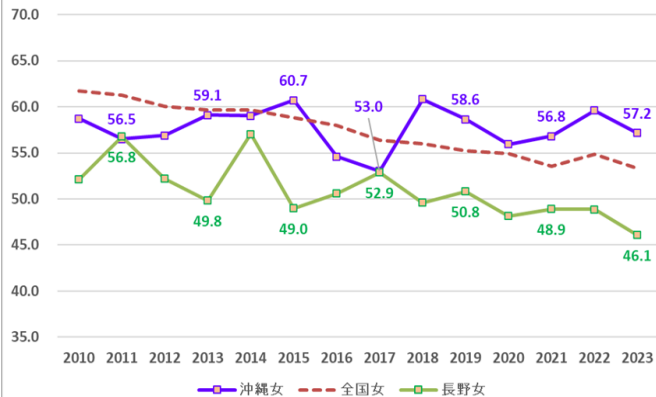


図 12 年齢階級別死亡割合(%) (表 10 から作成。年齢不詳を除く。)

がん（全部位）75歳未満年齢調整死亡率（人口10万対）男



がん（全部位）75歳未満年齢調整死亡率（人口10万対）女



令和8年8月7日

沖縄県保健医療介護部
諸見里 真 部長

沖縄県がん診療連携協議会議長
鈴木 幹男

「沖縄県がん登録事業報告の集計方法」に関する要望書

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、今年度の「沖縄県がん登録事業報告」に対する要望があり、提出いたします。

毎年、沖縄県では「沖縄県がん登録事業報告」を行っていて、沖縄県のがん対策の基本となる資料として、有用であると感謝しております。

この報告をさらに有用なものとするため、「がん検診受診率の改善に寄与すると考える、集計方法の改善策」を下記の通り要望いたしますので、ご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 参考とすべき「年齢階級別」の分類を実施している現行の集計表（がん登録集計表一覧より）

- ①表 2-A 「年齢階級別罹患数： 部位別、性別（上皮内がんを除く）」
- ②表 2-B 「年齢階級別罹患数： 部位別、性別（上皮内がんを含む）」
- ③表 10 「年齢階級別死亡数： 部位別、性別」

2. 新たに「年齢階級別」の分類を追加して欲しい集計表

- ①表 4-A 「発見経緯（%）： 部位別（上皮内がんを除く）」
- ②表 4-B 「発見経緯（%）： 部位別（上皮内がんを含む）」
- ③表 5-1-A 「進展度・総合（%）： 部位別（上皮内がんを除く）」
- ④表 5-1-B 「進展度・総合（%）： 部位別（上皮内がんを含む）」
- ⑤表 5-1-C 「(参考) 進展度・総合（%）： 主要部位別、発見経緯別（上皮内がんを含む）」
- ⑥表 5-2-A 「進展度・治療前（%）： 部位別（上皮内がんを除く）」
- ⑦表 5-2-B 「進展度・治療前（%）： 部位別（上皮内がんを含む）」
- ⑧表 6-A 「初回治療内容割合（%）： 部位別（上皮内がんを除く）」
- ⑨表 6-B 「初回治療内容割合（%）： 部位別（上皮内がんを含む）」

3. 上記2の「年齢階級別」の分類を追加する「主要部位」の対象は、以下の10部位を対象とする。

- ①全部位、②胃、③大腸（結腸・直腸）、④肺、⑤乳房、⑥子宮頸部、⑦口腔・咽頭、⑧食道、⑨膵臓、⑩前立腺

4. 以上の集計方法の変更は、今年度以降継続されたい。

以上